



TOKYO

履修の手引き～理科一類編～

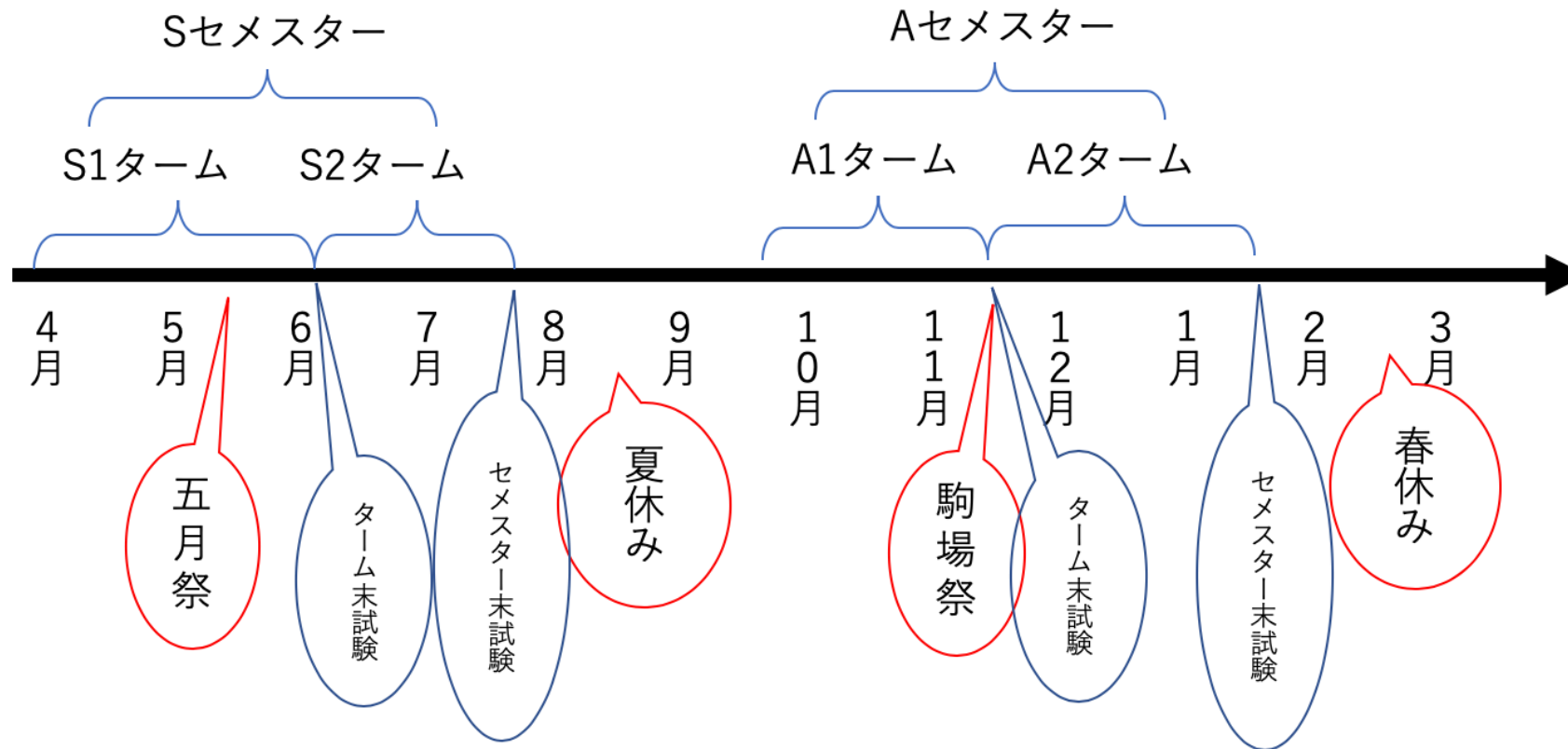


授業について



授業スケジュールについて

東大ではセメスター制とターム制を併用しています





授業時間について

東大の授業は原則として1コマ105分で行われています

時限	授業時間
1時限	8:30-10:15
2時限	10:25-12:10
3時限	13:00-14:45
4時限	14:55-16:40
5時限	16:50-18:35
6時限	18:45-20:30



授業の区分について

前期教養課程の科目は基礎科目、展開科目、総合科目、主題科目の4つの科目区分に分類されます。

- ・ **基礎科目**：主に必修や準必修と呼ばれるもので以下の区分に分かれています。
理科学：外国語、情報、身体運動・健康科学実習、初年時ゼミナール理科、自然科学
- ・ **展開科目**：基礎科目などの内容を発展させた専門的な授業・ゼミナール。
- ・ **総合科目**：L系列・A～F系列に分かれていて、社会・人文・自然など多種多様な授業があります。
- ・ **主題科目**：専門分野の教員を通して学問に接したり、海外研修などの国際交流を行ったりします。



単位について

理科一類では前期教養課程の2年間で63単位を取得する必要があります。

各授業の単位数は以下のとおりとなっています。

ターム制で週1コマ(計7コマ)の講義/演習 → 1単位

ターム制で週2コマ(計14コマ)の講義/演習 → 2単位

セメスター制で週1コマ(計14コマ)の講義/演習 → 2単位

セメスター制で週2コマ(計28コマ)の講義/演習 → 4単位

＊「基礎実験」や「身体運動・健康科学実習」などは実験/実習に分類され、上記の単位数の半分に
なります。(例：ターム制で週1コマ(計7コマ)の実験/実習→ 0.5単位)



基礎科目について

(主に1Sの授業)



基礎科目（既修外国語/英語の場合）

英語の必修授業は英語一列①、英語一列②、英語二列S、英語二列Wの4つに分かれています。クラスによってどの授業をどのタームやセメスターでやるのかは違います。

- ・ **英語一列（ターム制・週1コマ）（成績：全科類共通のテスト 70%／出席・授業態度 30%）**

指定教科書の英文を読解する受験英語に似た授業です。英語一列①では入試の英語の成績、英語一列②では英語一列①の試験結果を基準にG1,G2,G3とクラス分けがあります。G1は主に外国人教師が担当し、ほぼ英語で授業が行われますが、G2,G3は日本語がメインで行われます。

- ・ **英語二列S（ターム制・週1コマ）（成績：テストなし／出席・授業態度 100%）**

Speakingの授業であり、FLOWと呼ばれる英会話の授業です。レベル1～6の習熟度を自分で選ぶことができます。教員によって、授業形態が大きく異なりますが、課題として英語で自撮り動画を提出することが話題になります。

- ・ **英語二列W（セメスター制・週1コマ）（成績：テストなし／出席・授業態度 100%）**

Writingの授業であり、ALESSと呼ばれる英語論文を書く授業です。実験の設計から実施、考察までを全て英語で行い、最後に学術論文を書き上げます。1年生では一番大変な授業と言われ、学術論文を書く難しさに加え、全て英語という負担が大きいです。



基礎科目（初修外国語）

入学時に選択した外国語をもとに初修外国語の授業は行われます。

- ・ ○○語一列①（セメスター制・週1コマ）（成績：出席・授業態度、テスト）
- ・ ○○語一列②（セメスター制・週1コマ）（成績：出席・授業態度、テスト）
- ・ ○○語二列（セメスター制・週1コマ）（成績：出席・授業態度、テスト）

○○語一列①と○○語二列が1Sで、○○語一列②が1Aで開講され、いずれもクラス指定です。一列と二列の差は特に明確に区切られているわけではないですが、一方で文法、もう一方で講読を扱っている場合が多いです。



授業の区分について

前期教養課程の科目は基礎科目、展開科目、総合科目、主題科目の4つの科目区分に分類されます。

- ・ **基礎科目**：主に必修や準必修と呼ばれるもので以下の区分に分かれています。
理科学：外国語、情報、身体運動・健康科学実習、初年時ゼミナール理科、自然科学
- ・ **展開科目**：基礎科目などの内容を発展させた専門的な授業・ゼミナール。
- ・ **総合科目**：L系列・A～F系列に分かれていて、社会・人文・自然など多種多様な授業があります。
- ・ **主題科目**：専門分野の教員を通して学問に接したり、海外研修などの国際交流を行ったりします。



基礎科目（情報）

・ **情報（セメスター制・週1コマ）**（成績：全科類共通のテスト 50%／出席・授業態度 50%）
1Sに開講されていて、情報教育棟（JK棟）にてパソコンの授業を行います。教員によっては毎週課題が出ることもあります。また、全科類共通のテストに加えて独自の問題も出す教員もいます。情報に強い友達がいると頼りになるため、パソコン強者に群がる姿が散見されます。

基礎科目（身体運動・健康科学実習）

・ **身体運動・健康科学実習（セメスター制・週1コマ）**（成績：テストなし／出席・授業態度 100%）
通称スポ身と呼ばれ、1Sに1コマ、1Aあるいは2Sで1コマの計2コマ(実習のため、計2単位)を取得します。種目はコマによって異なり、バスケ、卓球、ソフトボール、バレーボール、バドミントン、テニス、サイエンスなどの種目から選ぶことになります。
初めの複数回の授業でガイダンス、身体測定(垂直跳び、腕立て伏せ、反復横跳び、踏み台昇降)を行い、抽選での種目分けも行います。身体測定の数値が低い人は優先的にサイエンス(筋トレやランニング)の選択権が与えられています。また、セメスター中に2回共通基礎実習が行われます。
* 疾病等により運動が制限されている人を対象に「メディカルケアコース」も開講されています。



基礎科目（初年次ゼミナール理科）

・初年次ゼミナール理科（セメスター制・週1コマ）（成績：出席・授業態度によって合否のみの評価）

通称初ゼミと呼ばれ、1Sに開講されています。少人数(20人以下)でアカデミックな体験を通して学習する授業です。

各クラス2つのコマが指定されていて、初めの複数回の授業で各コマに開講されている授業のガイダンスが行われ、抽選を通して1つのコマの1つの授業が決定します。

数学や物理、自然科学や建築など幅広い分野から選ぶことができますが、人気の授業などもあり、抽選に落ちてしまい、興味のない授業になってしまうことも多々あります。



基礎科目（自然科学 数理科学）

- ・ **数理科学基礎（ターム制・週2コマ）（成績：主にテスト）**

1S1に開講されており、数理科学基礎の共通資料をもとに、数理科学の基礎的な内容を学びます。最初は高校数学に似た内容ですが週に2コマあるため、油断していると置いていかれます。理科生にとってはターム末で行われる数理科学基礎のテストが最初の鬼門であると言われています。しかし、実のところほとんどの人に単位がくることが知られています。

- ・ **数理科学基礎演習（ターム制・週1コマ）（成績：授業内演習やテスト）**

- ・ **数学基礎理論演習（ターム制・週1コマ）（成績：授業内演習やテスト）**

それぞれ1S1、1S2に開講されており、数理科学基礎や微分積分学・線形代数学の授業内容に沿って問題を演習するというものです。必修授業の数理科学基礎や微分積分学・線形代数学の理解を深めるのに活用できます。



基礎科目（自然科学 数理科学）

- ・ **微分積分学**（ターム制・週1コマ）（成績：主にテスト）

1S2に開講されており、「数理科学基礎」で学んだ内容を応用して、微分積分学について学ぶ授業です。高校数学の応用でテーラー展開や偏微分、重積分など数学と微分積分学の基礎と応用を学びます。また、この授業は1A1、1A2にも続きます。

- ・ **線型代数学**（ターム制・週1コマ）（成績：主にテスト）

微分積分学と同様に1S2に開講されており、「数理科学基礎」で学んだ内容を応用して、ベクトルや線形写像について学ぶ授業です。微分積分学に比べて概念的に感じる人が多いため、比較的苦労する人が多いです。また、この授業も1A1、1A2に続きます。

- ・ **微分積分学演習**（セメスター制・隔週1コマ）（成績：授業内演習やテスト）

- ・ **線型代数学演習**（セメスター制・隔週1コマ）（成績：授業内演習やテスト）

どちらも1Aの同じコマに開講されており、隔週で微分積分学・線形代数学の授業内容に沿って問題を演習します。前ページの数理科学基礎演習や数学基礎理論演習と違って必修です。



基礎科目（自然科学 物質科学）

- ・ **力学**（セメスター制・週1コマ）（成績：主にテスト）

1Sに開講されており、古典力学を数学的手法で表現して学ぶ授業です。内容入試の際に物理を選択した人は力学A、物理を選択していない人は力学Aと力学Bから選べます。内容は同じですが、力学Bは力学未修者向けの内容から入ります。

- ・ **熱力学**（セメスター制・週1コマ）（成績：主にテストとレポート）

1Sに開講されており、多数の原子分子の集団からなる物質系を、マクロな観点から考察する方法を学びます。

大学受験の物理で扱った熱力学を応用した授業です。

- ・ **電磁気学**（セメスター制・週1コマ）（成績：主にテストとレポート）

1Aに開講されており、電気・磁気について理解し、マクスウェル方程式を取り扱う授業です。力学と同様にA,Bで分かれています。

- ・ **構造化学**（セメスター制・週1コマ）（成績：主にテストとレポート）

1Aに開講されており、原子や分子の構造について、シュレディンガー方程式を通して学ぶ授業です。



基礎科目（自然科学 生命科学）

- ・ 生命科学（ターム制・週1コマ）（成績：主にテスト）
2S1に開講されており、生物選択ではない学生にもわかりやすいように、計算主体の演習問題を解くことを通して生命科学を学びます。
理科二・三類と比べるとコマ数がかなり少なく、時間に余裕のある2Sに開講されているため、あまり負担は大きくありません。



展開科目について

展開科目は取得すべき最低単位が定められていないため、完全に任意で履修可能な授業です。社会科学ゼミナール、人文科学ゼミナール、自然科学ゼミナールに分かれており、興味のある授業があれば履修するといいますが、抽選のため、履修できない場合もあります。

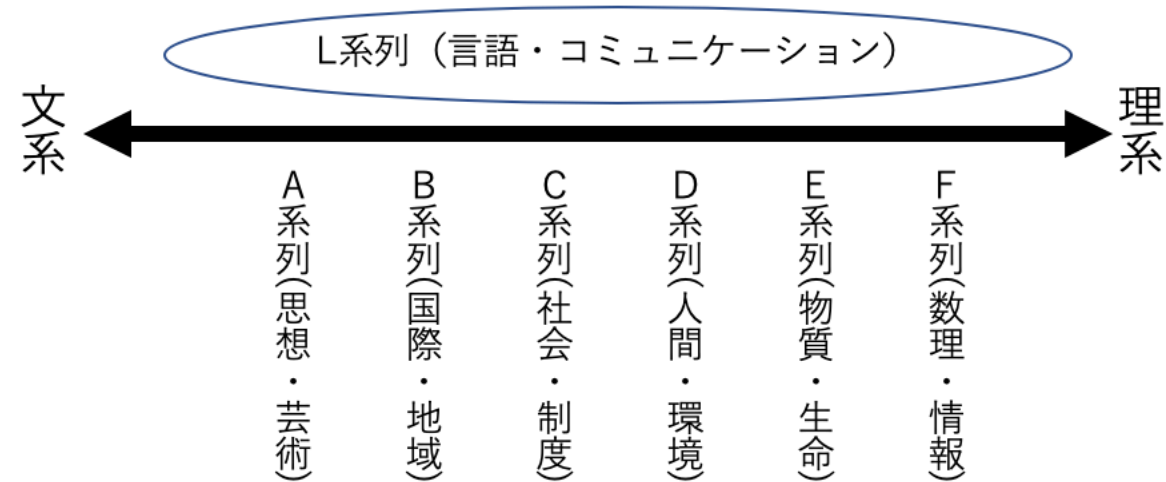


総合科目について

取り上げる授業の他にも興味深い授業や楽な授業はたくさんあります。
また同じ授業でも教員によって全然違うこともあります。
取りたい授業をとってみましょう

総合科目について

総合科目は以下の7系列に分かれています。



理科一類では

- ・ L系列3単位
 - ・ ABCD系列から2系列以上にわたって6単位
 - ・ EF系列から2系列以上にわたって6単位
- が取得すべき最低単位数として定められています。



総合科目（L系列/英語の場合）

理科一類の場合、既習外国語と同一言語の科目の必要最低単位数として、「英語中級」もしくは「英語上級」から計3単位を取得しなければならず、この3単位で前ページにおける「L系列3単位」を満たすため、ほぼ必修のように扱われます。

英語中級はクラス指定型と全クラス型、英語上級は全クラス型のみが開講されており、セメスターとターム制のものが 있습니다。Sセメスター開始時にS2タームの授業も含めて、いずれの授業も履修希望の登録を行い、抽選が行われます。

英語中級は教員によって、本を読んだり、プレゼンしたりと多岐にわたった授業内容となっています。そのため、教員によって楽しさがかなり違い、楽な授業に第一希望が集中することが多く、抽選落ちしてしまう人も少なくありません。また、希望登録をし忘れて忙しい授業を履修せざるを得なくなってしまう人も一定数いるため、気をつけましょう。



総合科目（A系列）

- ・ **記号論理学 I（理科学）（セメスター制・週1コマ）（成績：主にテスト）**

Sセメでは月1、金5に開講されており、キゴロンと呼ばれている。

理科学と文科学で分かれているため、A系列では勝負が比較的しやすいが、命題論理学や述語論理学自体の内容は普通に難しいです。

- ・ **美術論（セメスター制・週1コマ）（成績：課題やレポート）**

Sセメでは月5、水5に開講されており、美術史や理論をもとに、美術作品の理解を深める授業です。

美術という分野のため、人気が高いです。また、テストはなく、美術館に行ってレポートを書くなど内容も比較的難しくはない場合が多いです。



総合科目（B系列）

- ・ **国際関係論**（セメスター制・週1コマ）（成績：主にテスト）
Sセメでは火2、金2に開講されており、コッカンロンと呼ばれる。
主に戦争や平和など国際政治についての入門的な講義であり、様々な国際関係について幅広く取り上げています。
- ・ **現代国際社会論**（セメスター制・週1コマ）（成績：出席やレポート、テスト）
Sセメでは火2、水5に開講されており、現代国際社会について、国家だけでなく、国家以外の諸主体の活動を学ぶ授業です。
国際関係論と似ているため、初回授業やガイダンスを経て、判断するといいいです。



総合科目（C系列）

- ・ **ジェンダー論**（セメスター制・週1コマ）（成績：主にテスト）
Sセメでは水5に開講されており、現代社会におけるジェンダーやセクシュアリティについて学ぶ授業です。女性の履修者も多く、大学生として最低限の常識を身につけることができます。
- ・ **教育臨床心理学**（セメスター制・週1コマ）（成績：主にテスト）
Sセメでは月2、火2、金5に開講されており、キョウリンシンと呼ばれる人気の授業です。現代の教育場面で起こる諸問題について取り組み、臨床心理学を学ぶ授業です。



総合科目（D系列）

- ・ **人間行動基礎論（理科学）**（セメスター制・週1コマ）（成績：出席やレポート、テスト）

Sセメでは月3、木2に開講されており、文科学と理科学が分かれていることもあって、履修する人は多いです。人間の行動や心理に関して学ぶ授業であり、授業中に実際にそれらの現象を取り扱うこともあって面白いです。

- ・ **情報認知科学**（セメスター制・週1コマ）（成績：主にテスト）

Sセメでは金5に開講されており、認知機構を一つの情報処理システムと捉え、人間の知性について学ぶ授業です。人間行動基礎論と同じく認知行動科学を扱う授業のため、似た内容が多いです。

- ・ **身体運動科学**（セメスター制・週1コマ）（成績：主にレポート）

Sセメでは火2、木1に開講されており、人の身体機能や運動に対する適応について幅広い分野にわたって学習する授業です。内容が難しいわけでもなく、レポート提出のため、人気があります。

- ・ **スポーツ・身体運動実習**（セメスター制・週1コマ）（成績：出席や授業態度）

二年生向けにしか開講されておきませんが、一年生の必修の身体運動・健康科学実習と同じ内容を総合科目として履修することができます（必修がスポ身と呼ばれるようになった所以です）。運動するだけで単位が来るため、人によってはかなり楽に感じます。



総合科目（E系列）

- ・ **基礎化学**（セメスター制・週1コマ）（成績：主にテスト）

Sセメに開講されており、総合科目では珍しくクラス指定型です。高校で学んだ化学の知識をもとに化学の基礎的な概念を理解する授業です。化学熱力学や構造化学など、化学系の基礎科目を学ぶ上での入門となるため、内容は難しいですが後ほど役に立ちます。

- ・ **宇宙科学 I (理科学)**（セメスター制・週1コマ）（成績：レポート、テスト）

Sセメでは月1に開講されており、宇宙論や銀河や恒星の構造と進化を学ぶ授業です。必要な知識が大学入試までの理科と数学とされているため、比較的ハードルは低めです。



総合科目（F系列）

- ・ **基礎統計**（セメスター制・週1コマ）（成績：主にテスト）

人気が高いため、理系はクラス指定型になっています。数理・情報を扱うF系列は理系でも重い授業が多いですが、統計学の基礎について学ぶ基礎統計はF系列と行ったら基礎統計と言えるくらいとても人気です。授業前半ではデータの分析を応用した内容を扱い、後半では推定や仮説検定とやや難しくなっていきます。

Sセメで履修するようなオススメF系列は 他にありません...



主題科目について

理科一類では取得すべき最低単位数として2単位が定められています。
興味深い授業や楽な授業はたくさんあります。
取りたい授業をとってみましょう。

じっくり数学がオススメです



知っておくとお得！情報

・逆評定

東大キャンパスマガジン「恒河沙」の発行主である時代錯誤者という団体がセメスターの初めに300円で売り出している冊子。各授業の各教員の評価が書かれているため、シラバスと併用してそれを基準に履修を決める人が多いです。

・キャップ制

各セメスターにつき最大でも30単位しか履修することができません。しかし、主題科目の曜限欄に「集中講義」と記載されている科目や「国際研修」などに関してはキャップ制に含むことなく履修することができます。また、Sセメにおいて25単位以上を取得し、その9割以上が「優」か「優上」だった場合、Aセメではキャップ制を解放して、30単位以上に履修が認められます。

・平均合格

対象科目の全単位の成績が以下の条件を全て満たせば合格となり、単位の取得が認められます。

既修外国語(5単位)：①1S,1Aの成績の平均が50点以上 ②1Aの成績の平均が50点以上

初修外国語(6単位)：①1Sの成績の平均が40点以上 ②1Aの成績の平均が40点以上 ③1S,1Aの成績の平均が50点以上

身体運動・健康科学実習(2単位)：2つの実習の成績の平均が50点以上



WARRIORSについて

- 公式HP : www.tokyowarriors.com
- LINE QR



- Twitter : @tokyo_warriors
- Instagram : @tokyo_warriors

履修相談や質問は現役部員がいつでも受け付けます!
お気軽にご相談ください☆